

授与機関名 順天堂大学

学位記番号 甲第 2048 号

Frequent loss of heterozygosity of SMAD4 locus and prognostic impacts of SMAD4 immunohistochemistry in gastric adenocarcinoma with enteroblastic differentiation

(胎児消化管上皮類似胃癌における SMAD4 の高率なヘテロ接合性の消失と SMAD4 の免疫染色の予後への影響)

谷田貝 昂 (やたがい のぼる)

博士 (医学)

論文審査結果の要旨

本論文は、胎児消化管上皮類似胃癌 (GAED) における SMAD4 のヘテロ接合性の消失 (LOH) が通常型胃癌と比べて高率に認めており SMAD4 の不活化機構の一部分であることを解明し、また SMAD4 の発現低下が進行癌、リンパ節転移、腫瘍径、リンパ管侵襲と関連しており、全生存期間、無増悪生存期間に影響を与えていることから GAED において SMAD4 は高悪性度化の獲得に寄与していることを始めて明らかにした臨床的に意義のある論文である。

よって、本論文は博士 (医学) の学位を授与するに値するものと判定した。